

Lion

IWATE

2016
11
Nov.

- 希望郷いわて国体・いわて大会への協力
- シリーズ森④ ライオンズの森
- 我がクラブ自慢のアクティビティ
- あづま海道に行く その4



希望郷いわて国体・いわて大会 ライオンたちの“力”

10月1日～11日に行われた「希望郷いわて国体」、10月22日～24日に行われた「希望郷いわて大会」は、県選手団の活躍もあり、大いに盛り上がり大成功に終わったと報道されています。その成功の陰には、たくさんのスタッフ、ボランティアによるサポートがあったことが想像できます。私たち332-B地区のライオンたちも、様々な形でこの大きなイベントに携わり、成功へのサポートをしました。すべてをご紹介することはできませんが、ご報告があったサポートについて紹介します。



水沢中央LC 卓球の強化に協力

長年に亘って中国からのコーチを招へいし、地元の高校やスポーツ少年団の卓球選手たちの指導を務めてきました。県立水沢高校卓球部の、3年連続インターハイ出場にも寄与しました。今国体では、卓球の競技役員と総務副委員長を務めました。
(L.村上 孝)

大槌LC 希望がたくさん込められた灯

国体や大会の開会式に灯される炬火に、大槌LCで管理・維持している「希望の灯り」を分灯しました。9月3日(土)に行われたイベントには、多くの関係者が参加し、国体・大会の成功と、復興への願いを祈りました。



安代LC 国体を前にカーブミラーを清掃

9月22日(木)、八幡平市田山地区にあるライフル射撃競技場周辺と国道282号線沿いのカーブミラー29ヶ所39個を清掃しました。会員は全国から集う皆さんが安全に通行できるよう、少しでも役立てればと取り組みました。
(L.種市 郁雄)



花巻LC 花巻南LC 競技場をさっぱりと

花巻市湯口のクレ射撃場で競技が行われるため、10月1日(土)午前6時から花巻LC、花巻南LC合同で周辺駐車場の草刈りを行いました。出場選手のなかには花巻市出身の方もいて、競技も大変盛り上がりました。



水沢LC 弓道場に安土幕を寄贈

奥州市開催の弓道が行われる水沢弓道場へ安土幕を寄贈、その贈呈式は9月30日に執り行いました。当クラブには、大会関係者も多く在籍しており、個々でのかかわりも多岐にわたっています。
(幹事 L.鳥海 恭司)





釜石アスLC **きれいな町でおもてなし**

いわて国体が始まる直前の10月1日(土)に、選手の皆さんや応援団の方々に気持ちいいレースを楽しんでいただければと、市内目抜き通りの沿道の草刈りや清掃活動に取り組みました。12名の参加でした。



久慈LC **お餅でおもてなし**

私が会長を務める町内会では、柔道競技会場に隣接していることから、久慈市よりお餅のおふるまいの協力依頼がありました。当日は、婦人団体連合会と協力しながらあんこ餅とくるみ餅を100~120食ずつふるまいました。(会長 L.対馬 博貴)



玉山姫神LC **選手たちが安全に競技できるように**

岩手町・沼宮内CCで行われたゴルフ競技で、10月5日(水)~7日(金)の午前5時~午後5時までのクラブハウスの警備を行いました。ハウスの玄関や裏口などを警備し、選手たちが安全に競技に集中できるようにいたしました。



北上LC **ウェルカムボードでお出迎え**

北上LCでは、北上総合運動公園前に設置しているウェルカムボードを、2014年のCN50周年の記念事業として国体を見据えて大きいものにリニューアルしました。このウェルカムボードは「ようこそ北上市へ」と英語、中国語、ハングルで国内外のお客様を歓迎しています。又、周辺の花壇は北上LCが継続的に維持管理をしており、特に2014年から国体主催会場で意識して作業を行い、市の「花いっぱいコンクール」にも参加。クラブ員はもとより、家族会員、LL、レオクラブと共に早朝6時から作業し、皆で近況等話をしたり、とても良いコミュニケーションの場となっております。



室根LC **岩手国体競技役員として参加して**

私は現在、全日本空手道連盟和道会東磐井支部長として、室根町で子供達を中心に週一回空手道を指導しております。今回は、岩手国体空手道競技役員として参加しました。私自身も30年程前に選手、監督やコーチとして国体には何度か参加した経験がありますが、また違った緊張感があり、大過なく終えたことにほっとしています。本大会において岩手県が空手道競技で総合優勝に輝いたこと、2020年の東京オリンピックの正式種目に空手道が決まったことなど、空手道を今まで続けてきて本当によかったと感じたところです。これからも、体力の続く限り続けていきたいと思っております。(L.小野寺 規夫)



安代LC 応援してきました

八幡平市で行われた相撲とラグビーの様子を写真に撮ってきました。選手も応援席も熱気にあふれていました。
(L. 八幡 富士男)

花巻東LC 競技役員としての協力

私の会社では、市内2ヶ所の道路工事を大会期間中止し、協力しているほか、社員の中には競技役員や競技サポートとして関わりを持っている者も3名おります。
(L. 藤田 好造)

2R2Z いわて国体クリーン大作戦



2R2Zでは「希望郷いわて国体」へ向けたゾーン内合同アクティビティを『いわて国体クリーン大作戦』と名付けました。9月11日(日)早朝6時から約90人のライオンが集まり、国道4号線から、北上で開催されるソフトテニス会場への入り口までの道路約2kmを清掃活動。北上が主会場でもあり、ライオン各位の「おもてなしの心」が発揮されたアクティビティでした。
(ZC L. 菊池 敏昭)

二戸LC 競技副委員長としてサポート

安比高原ゴルフクラブにおいて10月6日(木)、7日(金)に成年女子ゴルフ競技副委員長を務めました。今年の4月から会議等を重ね、当日まで何度も下見をし、念入りに準備をして臨みました。当日は正・副委員長会議、監督会議にて説明をし、安比の競技全般を指示しました。天候や病人が出ないかなど神経を使いましたが、無事に終わりホッとしています。
(L. 久慈 隆)



北上国見LC 芋の子汁をお振る舞い



10月2日(日)、北上市地域婦人団体協議会の北上支部長として、無料お振る舞い料理「きたかみの芋の子汁」を提供しました。和賀川ふれあいスポーツ公園にて300食もの芋の子汁を会場で振る舞いましたが、長蛇の列ができ、15分ほどで配り終わってしまいました。
(幹事 L. 梅木 忍)

一関中央LC 役員・スタッフがー丸に

10月6日、7日の2日間にわたり沼宮内カントリークラブにおいて行われた成年男子ゴルフ協議会の役員を務めました。役員・スタッフが一丸となり、全国の来県された代表選手の皆さんが、それぞれに自身のベストをつくせるようできる限りのサポートをしてまいりました。ハードなスケジュールでしたが、良い経験をさせていただきました。
(L. 熊谷 雅博)



手話ボランティアから思うこと

盛岡観武 LC (盛岡なでしこ支部)
会計 L. 栗田 祥子

私が今回担当したのは、競技場のスタンドで観戦に来られた方へ、場内のアナウンス等を手話でお伝えする活動と、フィールド内で競技者の方へ審判の声をお伝えする活動でした。もともと手話に興味があって、2年前に盛岡市の手話奉仕員養成講座を受けたのが、手話を始めたきっかけです。誰かの役に立てばいいなと思ひまして。今年の5月と8月に国体の手話ボランティアの説明会があり、せっかく地元で国体があるなら、習っている手話を生かせる機会だと思って参

加したんです。参加して思ったのは、ろう者の方々がどんなことに困っているのかを実感できたということです。もう投げてもいいのか、今何投目なのか、など、競技中の選手からすごく頼りにされました。それだけ、耳が聞こえないことで困っているということなのです。これからも、ろう者の方がスポーツをはじめ、様々なことを気軽に楽しめるよう、手話がもっと広まっていけばいいなと思います。そのためにもこの活動は続けていきたいと改めて感じました。



たくさんの情報をご提供ありがとうございました。すべてをご紹介することができず、申し訳ございません。

おめでとうございます

■ 第二副地区ガバナー決定

空席となっていました第二副地区ガバナーがこのたび決定いたしました。盛岡観武ライオンズクラブ所属のL.矢羽々陸子（やはばむつこ）が、地区ガバナーL.金野幸造より2016-2017年度第二副地区ガバナーとして指名されましたことを報告します。2015-2016年度に、1R1ZのZCを勤め、その手腕を第二副地区ガバナーとしても振るってほしいという思いからの推薦でした。

10月4日に、ホテルメトロポリタン盛岡において、「第二副地区ガバナーに任命されるライオンを推薦するための特別会議」が開催され、資格審査を経て出席者による投票の結果、満場一致で採決されました。



■ CN 周年記念式典報告

久慈ライオンズクラブ 会長 L. 對馬 博貴

5年7ヶ月前、沿岸地区は東日本大震災で久慈LC45周年も自粛し、10年ぶりの式典を迎え、昨年から実行委員会を立ち上げ準備してまいりました。委員会の打合せを重ねてまいりましたとき、本年8月30日の台風による被害は市内、駅前周辺は甚大であり、またも50周年も中止かと思いましたが、実行委員長を先頭に本部長、会員一同が50周年は全員協力し式典をやること決めました。本部長を中心に段取り、当日を迎え、又天候も快晴で周年を祝うごとく332-B地区以外から八戸、神奈川県川崎朋友クラブからも参加。台風10号による被害へのお見舞金をキャビネットからいただき5R1Z5クラブの会長がガバナーより受け取りました。近日中に久慈市に届ける事と致します。祝賀も終わりになり全員で「また会う日まで」を手をつないで歌い、又の再会を祈って終わりました。

水沢ライオンズクラブ 会長 L. 小野寺 巖

水沢ライオンズクラブは10月15日（土）CN55周年記念式典・祝賀会を、ご来賓各位、ガバナーを始めとするライオンズメンバー約160名にご出席戴き、和やかな中に盛大に開催することが出来ました。

祝賀会では、『あの頃プレイバック』と銘打った1970年代の懐かしの曲特集を企画し、「いやあ、いいね」とお褒めの言葉もあり、若き日に浸りながらの懇親を深めました。

記念事業は、ガバナーの呼びかけに呼応し「いわて国体」に協力する趣旨で、地元開催の弓道競技場に安土幕（あづちまく）を寄贈。国体成功の一助になったものと自負しているところです。

次の「60」そしてその先。「次なる山を目指して」とメンバー全員が気持ちを新たにしたりとなりました。

続・台風10号被災状況報告

花泉ライオンズクラブ
L. 菅原 徳哉

10月8日、岩泉地区へ台風10号被害の1ヶ月後の状況を調査して来ました。当日は朝からあいにくの雨降りで、写真撮影ができるか心配しながら朝7時出発。早坂トンネルを抜けると直ぐに濁流による道路の損壊で片側通行が何箇所もあり、先の小川地区に入ると建物の損壊等、まだほとんど手付かずの状況で、地元の人々が作業をしていました。

11時に岩泉地区支援センターへ3R2Zの各クラブよりの支援物資を届けました。また避難所内を担当者の案内で慰問してきました。

その後小本方面に向かい、龍泉洞は入口で閉鎖、たくさんの方々が犠牲になった老人ホームでは多数の人がボランティア活動をしていました。道の駅岩泉、岩泉球場等は復旧作業が進んでおりませんでした。

宮古市内も見てきましたが、大きい通りは普段通りに復旧しておりました。岩泉地区はこれから冬に向かい、寒さ対策等復旧作業が一日も早く進むことを祈っています。

今回の取材では岩泉龍泉洞ライオンズクラブ L. 澤里寛にご協力を頂き、感謝申し上げます。



第4回 須川岳



3つの名を持つ“須川岳”

「須川岳」。それは、岩手、秋田、宮城の3県にまたがる標高1,626.5メートルの山。岩手県側では須川岳、宮城県側では栗駒山、秋田県側では大日岳と呼ばれています。毎年5月に山開きが行われ、春から初夏にかけてはブナの新緑、夏は高山植物、秋は紅葉と四季折々の魅力があります。特にこの時期はカエデ、ナナカマド、ヤマウルシなどがダイナミックかつ繊細に織り成す紅葉を楽しみに県内外から多くの人を訪れます。また、火山特有の景観や峡谷、湖沼、湿原と変化に富んだ風景が迎えてくれるのも、須川岳の大きな魅力です。

大自然が見せてくれる景色とともに人気なのが温泉。中腹に広がる須川高原では、硫黄の独特のにおいが立ちこめ、豊富な温泉が流れています。須川高原では入浴はもちろん、足湯を楽しむ登山者たちの光景をみることができます。須川岳から一関市街地に向かう間には、真湯温泉、祭時温泉、矢びつ温泉、宝竜温泉、巖美溪温泉と多くの温泉があり、一関温泉郷と呼ばれています。また、須川岳は古くから信仰の対象とされ、人びとは畏怖の念を抱いてきました。



名残ヶ原

登山口から須川岳山頂を目指すコースで最初の見所となる名残ヶ原湿原。春から夏にかけてはさまざまな高山植物に出会えるスポット。紅葉も終わった今の時期は一面に広がるすすきの大草原を楽しめる。

栗駒山岩手県側登山口

岩の間を縫って温泉が流れる。登山口付近には乳白色の硫黄泉が人気の露天風呂の他、足湯があり誰でも気軽に楽しむ事が出来る。



民話の中の“須川岳”

一関の民話に「でかい話」というものがあります。登場人物は「須川おやじ」とその4人の息子達。その名も「本寺太郎」「小猪岡次郎」「瑞山三郎」「祭時四郎」。須川の裾野に広がる地名が子供達の名前です。話の筋はこうです。お正月、別々に暮らす息子達が須川おやじのところに集まり、酒を飲み楽しく歌ったり踊ったり。酔いが回ったのでしょ、次第に自慢大会が始まります。息子達はそれぞれ自分の住むところには沼より大きな坊主があるとか、山より高い竹があると言って競い始めます。そんな中、長男の本寺太郎が自分のところには二日二晩かかっても廻りきれない桜の木があるが、中が腐っていて太鼓にでもしようかと思っていたと言います。すると誰かが言いました。そんな大きな太鼓誰が叩くのか？合うばちはあるのか？と。皆だまってしまいました。すると息子達の話聞いていた須川おやじが言いました。「太郎のところの太鼓に張る皮は四郎のところの牛の皮を使うと良い。ばちは三郎の竹。叩くのは次郎のところの大坊主だな」それを聞いてみななるほどと納得したという話です。

いま、私たちは美しい自然や温泉を楽しむという恩恵を須川岳から受けていますが、昔から地域の人びとにとって須川岳は、信仰の対象であり、またとても大きく偉大な存在としてあり続けています。



祭時大橋（落橋）展望の丘

岩手・宮城内陸地震災害の教訓を忘れないため整備された公園。展望の丘と隣接する木道では落下した祭時大橋や震災当時のままの道路などの災害状況を見学できる。

ライオンの森の整備

一関ICから須川岳に向かう国道342号線沿いに、3R2Zのライオンの森はある。真湯温泉近くの旧道を遊歩道として整備した「猿跳古道」近くにあるその森は、一関・平泉・花泉・一関中央・衣川（当時）・一関巖美溪という6つのクラブによって整備されてきたが、昨今は諸事情により手を入れていない。この森に限らず、整備に手が回っていないライオンの森は複数ある。人手不足、メンバーの高齢化など、理由は様々だと思うが、先輩方が思いを込めて拓いた森を、このままにしてはおけない。どのように手をかけ活用していくかを考えなくてはならない。



我がクラブ自慢の

第4回 わんぱく寺子屋

一関中央 LC
L. 後藤 正夫

会場となる光西寺は一関市街東端の小高い丘の上にあります。秋晴れ、風もなく森も静かに眠っているような佇まい。箱庭の様な市街を横一線の上に新幹線が滑るように北に向かっています。見れば遠く須川岳に続く焼石連峰が連なって目に入って来る絶好の展望台。此处が LC の青少年育成事業の一環で「わんぱく寺子屋」が開かれる会場です。

今日のオリエンテーションは、稲刈り体験・飯盒炊飯体験。市内の5小学校から13人が参加、稲刈りに挑戦しました。会場の目の前に田圃があって体験用の稲が残されています。地主の佐藤哲夫さん（64歳）が指導して一列に並び端の人から順に刈り取っていきます。「出来たー」と喜ぶ子、力みすぎて泥に尻餅をつく子、など



など、とにかくやり遂げました。

飯盒炊飯は火起こしから教わり、予め用意した飯盒を設置、出来上がったご飯とカレー、みそ焼きオニギリ、銀紙に包んだサツマ芋、「おいしい〜」を連発、楽しい昼食風景です。最後に、稲刈りを教えてくれた佐藤哲夫さんは宮古警察署の元署長さんで、交通安全をテーマにお話をしてくれました。ビンゴゲームを楽しんで閉会です。

一関小5年泉順晴君「楽しかった。家でも20キロの水ポリタンクを運ぶ手伝いをしてるよ」と言うので腕を触らせて貰った。筋肉盛り盛り、驚きです。

今日の体験はきっと活きるだろうと信じ、その手助けをする一関中央 LC の活動は続く。

突然の雨に慌てないで

矢巾ライオンズクラブ
会長 L. 根子 清隆

年々乗降客数が増えている JR 矢幅駅を擁する矢巾ライオンズクラブでは、駅構内（東口、西口）に雨傘を置く活動を長年続けています。当クラブの会員には飲食店経営者もおりますので、店に忘れられていく雨傘を有効活用できないものかと発案されたのが、この活動だったようです。半年ほど忘れられたままになっていた雨傘に、市販のビニール傘をプラスし、柄の部分にクラブの名前をつけて設置します。年間約100本ほど補充し、どなたでも自由に使って



もらえるようにしていますが、なかにはそのまま持って行ってしまう方もいらっしゃるようです。それでもその傘1本が誰かの役に立つのであれば、この活動は意義があるのだと思っています。

矢幅駅は岩手医大キャンパスの移転によって、今後ますます利用者数が増えていくことでしょう。そんな人たちが少しでも快適に利用できるよう、この活動は続けていきたいと考えています。

アクティビティ! ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

水沢ライオンズクラブ旗争奪 区内三中野球大会

水沢ライオンズクラブ幹事
L. 鳥海 恭司

我が水沢ライオンズクラブは、水沢区内三つの中学校を対象に長い間野球大会を開催し、今年30周年を迎えました。開催趣旨の一義は、もちろん「青少年の健全育成」にあります。実は30年前に開催を考えた先輩たちには秘めた「思惑」がありました。ここ胆江地域（奥州市と金ヶ崎町）は、県内で唯一、甲子園出場校を出せずにいる地域。地元校が初めて決勝まで進んだのが48年前、それから何度も後一歩のところに行くのですが、いまだ「叶わぬ夢」のまま。その夢に貢献し、そして実現することを熱望して30年間開催し続けてきたのです。

今、日本中誰一人知らぬ人のいない日本ハムの大谷翔平選手は、8年前の当時中学の硬式野球クラブに所属しつつ南中学校の野球部にも籍



を置いていました。彼が初めて出場した時のことは、その場に居合わせた会員はみんな良く覚えていますが、センター前に飛んだヒット性の当たりを、矢のような送球で「センターゴロ」にしてしまった「凄さ」を見せ付けられ、将来を予感させられた瞬間でした。大谷君は地元の誇りであり、彼も出ていた大会だということは又、これからも「三中野球」を開催し続けて行けるクラブの誇りともなりました。

今後40年・50年と三中野球大会は、水沢の子供達の健全な成長を願いつつ、歴史を重ねていくことでしょう。夢の甲子園出場が、私が歩けるうちに実現することを心の中で願いながら、又来年の大会が盛り上がるように、会員一同でお世話して行くつもりです。

地域で共に生きるために

北上国見ライオンズクラブ
幹事 L. 梅木 忍

実りの秋深まる10月12日、障がい者支援施設「萩の江」を訪れ利用者や職員の皆さんと毎年恒例の交流会を開催しました。

私たちが訪れるのを利用者の皆さんはとても楽しみにしてくれています。

前日の食材の買い出しから始まり、当日は朝早くから炭をおこし、焼き肉、焼きそば、豚汁等々を料理し、焼き芋、フルーツ様々な秋の味覚と一緒に味わいました。

あいにくの不安定な天気、屋内での交流会



となりましたが食事の後は一緒にカラオケで歌ったり踊ったりと、会は盛り上がりしました。

この恒例行事をしていつも思うことは、障がいのある人もない人も安心して暮らせる地域づくりが、いかに大切かという事です。

ノーマライゼーション社会を構築するためお互いの役割を自覚して、積極的に行動に移していくことが重要です。

利用者の皆様が少しでも笑顔になれるような手助けが、これからも出来れば幸いです。

連載

あづま海道を行く —その4—

北限の磨崖仏と黒石の十三塚



母体の町から県道 14 号沿いに登満羽毛橋（とまんばけばし）を通過、300 m ほど進むと、「北限の磨崖仏」の案内板が遠慮がちに立っている。北限の磨崖仏と言ったら平泉の達谷窟でしょ、としたり顔しつつも興味がわき、行ってみることにした。この先、山あいには 3 km だという。

車一台やっとの狭い道を上り下りしながら、たどり着いた眼前に現れた岩壁と樹林。鬱蒼としているため、どこが目なのか鼻なのか。幸い、写真付きの案内板があったので、その全文を紹介する。

「この磨崖仏（自然の岩壁に彫られた仏様）について、郷土の古代ロマンの夢をかきたてる次の事実と伝承が残されている。

昭和二十年、母体西館観音堂に安置されている、十一面観音立像の胎内から、古びた書付が発見され、それにはおよそ次のようなことが書かれていました。『坂上田村麻呂軍ニ破レ、母禮ガ生ケ捕リサレタ後、悪疫流行、在地ノ蝦夷ガ神楽ノ滝岩ニ母禮ヲ刻ム』と。

平成九年、教育委員会の調査によれば、この磨崖仏が造られたのは、室町後期か江戸前期の頃か、と報告されていますが、詳しいことはわかっていません。

岩手県内にある磨崖仏は、平泉達谷窟とこの二か所だけで、この磨崖仏は我国北限のものであり、地域の文化史上貴重な存在であります。母禮をたたえる会」

昨今、平泉の磨崖仏も顔の造りがおぼつかなくなっている。このような貴重な歴史遺産、なんとかならないものか、と思いつつ見えない母体の磨崖仏様に一礼しこの地を後にした。東海道に戻り、次の目的地である「黒石の十三塚」を目指した。

十三塚とは 15 世紀～16 世紀にかけて成立した十三仏信仰に基づいてつくられたと考えられている。国内に三百余りあったとされるが、十三基の塚が完全に残されているのは十数箇所、そのひとつが黒石町下柳にあり、国指定重要有形民俗文化財に指定されている。

見た目には何の変哲もない、なだらかな広陵であるが、北西から東南にかけて十三の塚が S 字を描いて盛土されており、中央の塚は直径 7 m もあるという。



樹林に包まれた磨崖仏の現況



解説板に紹介されている磨崖仏



黒石の十三塚跡地



龍門の滝と式内石手堰神社

黒石は平泉と同じく、歴史に重みのある町である。例えば、藤原清衡公が豊田館から平泉に居を移す250年ほど前の嘉祥2年(849)、慈覚大師により黒石寺が復興された。これは中尊寺、毛越寺の創建と同じ年になる。坂上田村麻呂が東北一円を掌握して50年後、新たな東北の時代が始まったと言える。その由緒ある黒石を散策するが、今回は全国的に有名な黒石寺や正法寺、大師山森林公園ではなく、普段何気に通過している場所にスポットをあてた。

県道14号線の南側から黒石の町全体を見渡すと、東西に長く横たわる独立系の山が目につく。町のシンボルともいえる鶴城館(つるぎだて)である。奥州藤原氏が滅び葛西氏の時代に創建された館と推測されるが、町に面する南側と、北上川に面する西側は岩盤の絶壁であり、北側には空堀を配し天険と人工の防塁となっていたという。

町並に入の手前を右折、県道197号を阿原山方面に向かう。東北新幹線架橋を100mほど進むと右手に大久保川「龍門の滝」が見えてきた。滝の高

さはおよそ4~5mあり、舟滝、釜滝、升滝の三段からなっている。滝の上の岩場には、年を経た松の木が枝を張り、さらにその崖の上には、不動明王を祀る祠がある、と近所に住む方が教えてくれた。

もう一度黒石の町に戻る。そして鶴城館下の県道をぐるりと半周、水沢市街には行かず右折、600mほど直進すると、県道14号線沿いで一番印象的な赤い鳥居が見えてきた。式内石手堰神社(しきないいわていじんじゃ)である。

貞観4年(862)の三代実録という古文書に「陸奥国鎮守府正六位上石手堰神社預官社」と記録されており、黒石寺とほぼ同じ歴史を歩んでいるという。

今の北上川は、社殿よりかなり西側を流れているが、昔は社殿のほぼ真下を流れていて、舟でここを通過する時は、舟運の無事を祈願したと言われている。社殿から西の方向に夕暮れに染まる奥羽山脈がみえた。(参考文献:水沢ふるさと名所五十景)

(ルポ/梅木隆詩)



鶴城館と黒石の町



流れ落ちる龍門の滝



式内石手堰神社鳥居

9月のアクティビティ

1R1Z		
盛岡LC	1日	暴力団追放街頭キャンペーン
	21日	LCIF \$ 1000 献金
盛岡不来方LC	1日	暴力団追放街頭キャンペーン
	6日	盛岡レオクラブスポンサー協力金
盛岡中津川LC	1日	暴力団追放街頭キャンペーン
盛岡親武LC	1日	暴力団追放街頭キャンペーン
盛岡南LC	1日	暴力団追放街頭キャンペーン
滝沢LC	11日	滝沢市柔道協会長杯少年柔道大会
	18日、19日、24日	台風10号被災支援
	28日	献血推進活動
玉山姫神LC	-	
1R2Z		
岩手LC	30日	献血推進活動
二戸LC	5日	わたしの主張二戸地区大会
	7日	カシオペア安全安心ちびっこまつり
	21日	久慈LCへ義援金
	29日	二戸地区防犯協会連合会へ助成金
西根LC	4日	献血推進活動
	11日	第31回西根ライオンズカップ争奪サッカー大会
	17日	むらさき苑長寿を祝う会
	18日	第36回西根・松尾・安代学童相撲大会
安代LC	30日	台風10号被災支援 久慈市へ土のう袋、久慈LCへ義援金
	18日	第36回西根・松尾・安代学童相撲大会
	22日	カープミラー清掃活動
2R1Z		
花巻LC	5日	わたしの主張花巻大会
	22日	こぶし苑「ふれあいの里まつり」
紫波LC	18日	紫波町に「支援カー」寄贈
	29日	ペットボトルのキャップ回収
石鳥谷LC	4日	宮古市江繁災害復興支援
	5日	わたしの主張花巻大会
	7日	献血推進活動
	17日	岩泉復興支援
大迫早池峰LC	3日	全国神楽大会ハヤチネ2016 運営協力
	21日	LCIF \$ 20 献金
花巻東LC	12日	LCIF \$ 1000 献金 2件
東和猿ヶ石LC	-	
矢巾LC	4日	いわて国体歓迎 県道沿い花壇整備
	18日	第二新生園まつりボランティア
	21日	矢幅駅西口周辺清掃
	26日	LCIF \$ 1000 献金
2R2Z		
北上LC	8月1日~31日	資源回収リサイクル活動
	2日	献血推進活動
	4日	花壇の整備と周辺清掃
	7日	ゾーン内チャリティゴルフコンペ (事業資金獲得)
	11日	「いわて国体・いわて大会」クリーン作戦
	20日	北上レオチャリティバザー物品提供
	23日	台風10号被災地支援 (岩泉へ救護物資)
	30日	花壇整備と周辺清掃

和賀LC	~9月8日	資源回収 4回
	2日	献血推進活動
	11日	「いわて国体・いわて大会」クリーン作戦
	25日	周年記念事業 和賀東中へコントラバス寄贈
北上国見LC	25日	周年記念事業 和賀西中へヒーター寄贈
	6日	献血推進活動
	7日	ZC主催親睦チャリティゴルフコンペ (事業資金獲得)
	11日	「いわて国体・いわて大会」クリーン作戦
江釣子LC	30日	台風10号義援金 送金
	7月29日	資源回収
	7日	ZC主催親睦チャリティゴルフコンペ (事業資金獲得)
	11日	「いわて国体・いわて大会」クリーン作戦
	11日	献血推進活動
3R1Z		
水沢LC	3日	「後藤新平像」及び周辺清掃
	15日	LCIF \$ 1000 献金
江刺岩手LC	7日	奥州市体育協会へ拠出
前沢LC	18日	献血推進活動
水沢中央LC	~2日	水沢区花いっぱいコンクール審査
	6日	いわて国体歓迎・JR水沢駅前広告塔周辺の選定・草刈
金ヶ崎LC	20日	使用済み切手 696枚送付
胆沢岩手LC	3日	胆沢岩手LC旗争奪少年野球大会
	11日、18日、19日	胆沢地区敬老会 米寿の方に記念品贈呈
	30日	秋の交通安全運動 一斉街頭指導
3R2Z		
一関LC	10日	リレーフォーライフジャパン2016いわて
平泉LC	10日	「弁慶の森」草刈・剪定作業
	18日	米寿の方々へ記念品贈呈
花泉LC	20日	第15回教育長杯学童野球大会
	10日~11日	リレーフォーライフジャパン2016いわて
一関中央LC	4日	献血推進活動
	10日~11日	リレーフォーライフジャパン2016いわて
	14日	使用済み切手 1000枚送付
	26日	LCIF \$ 1000 献金
一関厳美溪LC	26日	台風10号被災義援金送金
	24日	いわて国体歓迎看板周辺 草刈、清掃
4R1Z		
千厩LC	5日	千寿荘散髪奉仕事業
	13日	一関市千厩地域敬老会奉仕事業
	23日	全国交通安全運動街頭指導
	23日	いわて国体クリーン作戦 会場周辺清掃
大東岩手LC	14日~27日	大東地域敬老会で卒寿の方々に記念品贈呈 7会場
東山LC	24日	いわて国体クリーン作戦 会場周辺清掃
	24日	「唐梅館絵巻」前夜祭チャリティバザー
藤沢岩手LC	15日	台風10号被災支援物資発送
川崎岩手LC	3日	岩手県南中学女子ソフトボール大会支援
	17日、21日	川崎地区敬老会に出席
室根LC	22日	川崎地区主要道路カープミラー清掃
	11日	孝養ハイツ敬老会 記念品贈呈
	22日	いわて国体クリーン作戦

4R2Z		
大船渡LC	3日	ライオンズ農園野菜収穫 大洋学園に贈呈
	27日	声の図書館点検整備
陸前高田LC	16日、18日	敬老会で米寿の方々に記念品贈呈 13会場
	28日	ひかりの箱募金
住田LC	14日	LCIF \$ 1000献金、LCIF \$ 20献金
	16日	台風10号被害義援金送金
	24日	交通安全運動
	27日	ライオンの森草刈作業 2箇所
大船渡五葉LC	27日	ライオンズつつじ園整備作業
	7月6日	大船渡市老連親睦交流大運動会協力
	8月22日	MOA美術館気仙地区児童作品展へ協賛
5R1Z		
宮古岩手LC	-	
久慈LC	10日	久慈川河川公園清掃作業
	24日	久慈LC杯学童野球新人交流大会
	27日	久慈市共同募金委員会
陸中宮古LC	7日	百獣の王ライオンコンペ開催 (事業資金獲得)
	21日	秋の交通安全運動街頭啓発活動
	28日	東日本大震災・台風10号復旧、 復興祈念チャリティコンサート
田野畑LC	-	
岩泉龍泉洞LC	2日	給水支援活動
	5日	330A地区江戸川南LC 案内
	5日	キャビネット 被災地案内
	11日	332C地区気仙沼LC 炊き出し支援
	16日	LCIF緊急援助 硝石灰配布
	19日	332A地区弘前東奥LC 復旧作業支援
	22日	332C地区気仙沼LC 復旧作業支援
	23日	北上LC 作業服、マスク支援 協力
	24日	1R1Z合同 作業服支援 協力
30日	久慈LC 被災地支援案内	

5R2Z		
釜石LC	10日	ラグビーワールドカップ釜石開催支援 連絡会
	21日	第423回LL奉仕活動
	25日	釜石に桜を植える会議
遠野LC	1日	私の主張遠野地区大会開催支援金贈呈
	7日	障害者施設支援リサイクル品の回収
釜石リアスLC	26日	使用済み切手 1000枚送付
大槌LC	3日	いわて国体大槌委員会に希望の灯りを 分灯
	3日	希望の灯り周辺清掃
陸中山田LC	18日	東日本大震災被災者支援 AOMORI花道桜船演舞会協力
	19日	東日本大震災被災者支援 山田境田虎舞大山車復興再建
ライオネスクラブ		
西根LS	17日	むらさき苑長寿を祝う会
	30日	久慈LCへ台風被害義援金
レオクラブ		
盛岡LEO	-	
早池峰LEO	-	
石鳥谷LEO	-	
北上LEO	4日	環境美化奉仕・緑化推進事業
	24日~25日	北上CA学園祭・チャリティバザー
一関二高LEO	18日	ハーフマラソンへの協力
釜石LEO	-	

会員動向

9月 新入会員一覧

クラブ名	会員名 (新入 / 再入 / 転入)
盛岡不來方	工 藤 健 一
北上	関 里 美
久慈	晴 山 勝 伸
田野畑	小松山 久 男
大槌	阿 部 次 雄
	岩 間 公 人
	天 満 昭 広

9月 LCIF \$1000 献金

クラブ名	会員氏名	MJF 回数
盛岡	吉 田 ひさ子	1
花巻東	筒 井 學	5
	藤 田 好 造	2
矢巾	斉 藤 秀 造	15
水沢	小野寺 蔵	1
一関中央	小 岩 丈 郎	11
住田	橋 本 勝 美	1

花泉LC
故 L.小野寺 龍巳
享年87歳 (1970年3月入会)
チャーターメンバー
9月22日ご逝去



釜石LC
故 L.刈屋 恒
享年84歳 (1991年7月入会)
9月26日ご逝去



盛岡観武LC
故 L.中山 眞一
享年97歳 (1970年12月入会)
チャーターメンバー
9月27日ご逝去





アクティビティ フォトグラフ

江釣子LC



江釣子いわて国体クリーン大作戦

水沢LC



「後藤新平像」及び周辺の清掃作業

西根LC



少年サッカー大会

室根LC



住田LC



保育園栗拾い

釜石LC



世界ライオンズ奉仕デー

千厩LC



前沢LC



献血推進活動

滝沢LC



お知らせ

江刺岩手LC 10月20日(木)より事務局移転
 〒023-1102 奥州市江刺区八日町一丁目1番7-1号 アヴァンセ八日町102 有限会社ライフラン内
 TEL 0197-35-7882 FAX 0197-35-6257 事務局員 佐藤三枝・鈴木洋芳

《表紙の写真:須川岳の紅葉》

岩手県側から望む栗駒山は、「須川岳」と呼ばれ、秋の紅葉シーズンは観光客で賑わいます。今年の須川岳は少々赤みが少なかったものの、例年のごとくその美しい景色で私たちを魅了しました。そして間もなく、須川岳は冬支度を始めるのです。

編集後記

今年の岩手県で一番のビッグイベント「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」が終了し、一抹のさみしさを感じる今日この頃。その一方で世間では「東京オリンピック2020」関連の話題でにぎわっている。ポート競技場の候補地として、隣県・宮城の登米市にある長沼ポート場が浮上したからだ。東日本大震災からの“復興五輪”としての意味合いもあるからこそ、ぜひ長沼での開催をという意見と、“東京”でのオリンピックなのだから“東京近郊”でやるべきという意見。どちらも頷ける意見だが、どこか主役であるべき選手たちを忘れてしまっている感が否めない。そこで思う。岩手での国体は、選手ファーストでいられたのか、と。笑顔で帰る他県の選手たちを見ると、そんな心配も杞憂だったのか。

(ライオンいわて編集委員会 委員一同)

ライオンズクラブ国際協会332-B地区 キャビネット事務局

ライオンいわて編集委員会

発行日 2016年11月15日

発行人 L.金野幸造

編集長 L.菊地慶矩(一関中央LC)

副編集長 L.小野寺進(一関中央LC)、L.佐藤正彦(一関LC)

編集委員 L.村上耕一(平泉LC)、L.菅原徳哉(花泉LC)、
L.熊谷嘉高(花泉LC)、L.菅原公正(一関中央LC)
L.伊藤和江(一関厳美溪LC)

印刷 川崎印刷株式会社 〒029-4194 西磐井郡平泉町平泉字佐野原21

TEL:0191-46-4161 FAX:0191-46-4165

E-mail:kiyoe.s@kpc.co.jp

キャビネット事務局 〒020-0022 盛岡市大通三丁目6-12 開運橋センタービル4-7号

TEL:019-621-1415 FAX:019-621-1420

E-mail:office-332b-morioka@almond.ocn.ne.jp